

事務事業マネジメントシート(平成23年度実績と平成24年度計画)

平成24年 6月29日更新

事務事業名		合併5周年記念文化事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり			所属部	教育委員会事務局教育部	課長名	上原哲也
	施策	21	生涯学習の推進			所属課	生涯学習課	担当者名	水野隆文
	基本事業	67	学習への参加機会の提供			所属班	生涯学習班	(内線)	1514
予算科目		会計一般	款10	項5	目6	事業連番11547	法令根拠	成果優先度評価結果 : - コスト削減優先度評価結果 : -	
終了、開始年度		<input checked="" type="checkbox"/> 23年度で終了 <input checked="" type="checkbox"/> 23年度から開始				事業期間	<input checked="" type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 ~ 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)		

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】	文化芸術自主事業の中で、合併5周年記念事業として『NHKのど自慢』を5月29日にウィーブルメインアリーナで開催した。28日の予選会では応募総数820通から抽選し250組の参加があり20組が翌日の放送へ選出された。29日は1900名の観覧があった。『開運お宝なんでも鑑定団』を9月25日にウィーブル文化会館で収録し、11月13日に放送された。鑑定希望は219通から6名を選出、観覧希望は1185通から325通を抽選した。 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)
【業務の流れ】	①各放送局に開催希望申請提出業務 ②開催決定通知を受け、制作会社との打合せ業務 ③出場者募集業務 ④会場設営業務 ⑤予選業務 ⑥本番業務
【主な予算費目】	舞台技術(音響・照明)者委託料 200千円、看板作成50千円、展示用台作成500千円、募集チラシ作成400千円 体育館へのステージ(照明用タワー含む)仮設委託費 3,500千円、客席設置費(養生シート張、パイプ椅子設置)400千円 ビデオ運搬費50千円、技術者委託料100千円、消耗品20千円、役員費(ピアノ調律、郵便切手等)50千円
【意見や要望】	関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?

1 現状把握の部(DO, PLAN)

(1)事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
①手段(主な活動)23年度実績(23年度に行った主な活動)(DO)	合併5周年記念事業として『NHKのど自慢』『開運お宝なんでも鑑定団』を開催した。	24年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) 事業廃止
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)回 ア:開催できた回数 イ:参加、観覧できた市民の数	予算の主な増減の理由 事業廃止
②対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 市民		②対象指標(対象の大きさを表す指標)(単位)人 ア:市の人口 イ:
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 学習に取り組むことの必要性を認識できる施設や学習内容を知ることができる		③成果指標(意図の達成度を表す指標)(単位)% ア:目標、目的を持って実際に学習やスポーツを行っている人の割合 イ:
*③成果指標設定の理由と24年度目標値設定の根拠		総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0

(2)各指標・総事業費の推移		単位	22年度実績(決算)	23年度実績(決算)	23年度目標(当初予算)	23年度実績(決算)	23年度目標(当初予算)	予定	見込	見込
①活動指標	ア	回		0	2	2				
	イ	人		0	1,600	2,500				
②対象指標	ア	人		55,828	56,000	56,638				
	イ									
③成果指標	ア	%		0	37	37				
	イ									
投資入費量	事業内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
	(A)事業費計	一般財源	千円		5,270	4,047				
		(A)のうち指定経費	千円	0	5,270	4,047				
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0				
	人件費	正規職員従事人数	人		2	10	10			
		延べ業務時間	時間		140	1,500	1,850			
(B)人件費計		千円		576	6,180	7,470				
トータルコスト(A)+(B)		千円		576	11,450	11,517				

事務事業名	合併5周年記念文化事業	所属部	教育委員会事務局教育部	所属課	生涯学習課
-------	-------------	-----	-------------	-----	-------

## 2 評価の部 (SEE)

\*原則は23年度の後評価、ただし複数年度事業は23年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①23年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は?	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した	<input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】
	②24年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか?	<input type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか?成果が頭打ちになってないか?	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】	<input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
	⑥人件費 (延べ業務時間) の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか? (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】

## 3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

## 4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (PLAN)

<p>(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>廃止   <input type="checkbox"/>休止   <input type="checkbox"/>目的再設定   <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携   <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (効率性改善)   <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (公平性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策</p> <div style="border: 1px solid black; height: 100px;"></div>																						